



《渡頭の夕暮》1897(明治30)年 / 東京藝術大学蔵

# Eisaku Wada A Retrospective

## 和田英作展

日本近代洋画の巨匠

2016年4月23日[土]—6月5日[日]

休館日—月曜日(ただし、5月2日は開館)、5月6日[金]

開館時間—9:00—17:00(入館は16:30まで)

会場—刈谷市美術館 全館

入場料—一般900円(700円)、学生700円(500円) ※中学生以下入場無料

\* ( )内は前売及び20名以上の団体料金

\* 前売券は、刈谷市美術館、刈谷駅前観光案内所、刈谷市総合文化センター、高浜市やきものの里かわら美術館、チケットぴあ(Pコード=767-415)の取扱いのあるコンビニエンスストア(セブン-イレブン、サークルK・サンクス)などで4月22日[金]まで販売

\* 身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。入館の際に手帳をご提示ください

主催—刈谷市美術館、朝日新聞社

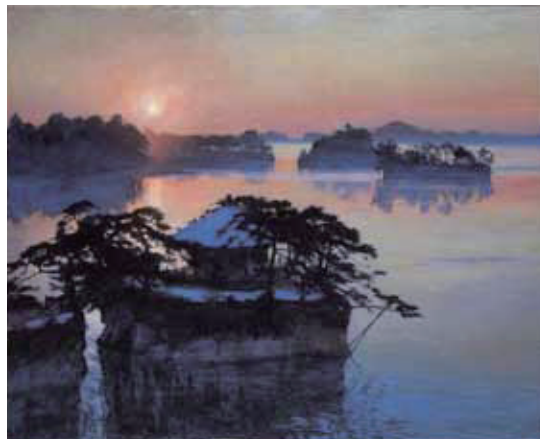
後援—愛知県教育委員会

特別協力—公益財団法人日動美術財団

刈谷市美術館  
KARIYA CITY ART MUSEUM



《赤い燦寸》1914(大正3)年/鹿児島市立美術館蔵



《松島五大堂》1918(大正7)年/鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵



《富士》1918(大正7)年頃/河口湖美術館蔵

Eisaku Wada A Retrospective

# 日本近代洋画の巨匠 和田英作展

和田英作(1874—1959)は、明治・大正・昭和を通じて洋画壇の重鎮として偉大な業績を残し、日本近代洋画の礎を築きました。堅実な写生を基礎にした穏健な画風を生涯守り続け、富士山をモチーフとした風景画、肖像画、薔薇の静物画などを情感豊かに描きました。

1874(明治7)年に鹿児島県垂水市で生まれた和田は、13歳頃から洋画を学び始め、曾山幸彦、原田直次郎から指導を受けます。その後、天真道場に入門し、黒田清輝や久米桂一郎に学び、1896(明治29)年の白馬会の結成に参加。同年開設された東京美術学校西洋画科の助教授に招聘されるも、和田は同職を辞して同科選科4年級に編入し、名作として名高い《渡頭の夕暮》を卒業制作として描きます。その後、4年間滞欧し、1903(明治36)年に帰国。33歳の若さで文展の審査員となり、1932(昭和7)年に東京美術学校の校長に就任、1943(昭和18)年には文化勲章を受章するなど、洋画壇を代表する画家として活躍し、日本洋画のアカデミズムの確立に貢献しました。

本展覧会は、和田英作の初期から晩年までの代表的な油彩画をはじめ、素描や下絵、1945(昭和20)年の疎開を機に愛知・知立や刈谷を描いた風景画などを含む90余点により、70年にわたる画業を振り返ろうとするものです。平成の世となり、忘れ去られつつある和田芸術の魅力、今あらためて見直す絶好の機会となるでしょう。



《薬を編む少女》1896(明治29)年  
鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵



《薔薇》1926(大正15)年頃/ポーラ美術館蔵



《野遊》1925(大正14)年  
東京藝術大学蔵

## ◎会期中のイベント

### 1. 記念講演会「日本の原風景を描く—和田英作の画業—」

講師 — 山西健夫氏(鹿児島市立美術館副館長)

日時 — 5月15日[日] 13:30—15:00

会場 — 2階研修室

定員 — 80名

参加費 — 無料(高校生以上は要展覧会チケット)

\*事前申込不要

### 2. 学芸員によるギャラリートーク

日時 — 毎週火曜日 14:00—1時間程度

参加費 — 無料(高校生以上は要展覧会チケット)

\*事前申込不要

(ご希望の方は、当日1階ロビーにお集まりください)

### 3. 「展覧会鑑賞&和田画伯ゆかりの地を巡る」バスツアー(解説付)

展覧会鑑賞後、和田が写生した小堤西池を訪れます。開花の見頃を迎えたカキツバタ群落を「カキツバタを守る会」の案内で散策します。

日時 — 5月12日[木] 8:40—16:00頃

対象 — 18歳以上

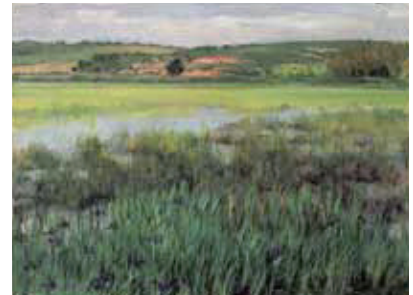
定員 — 40名

参加費 — 1,000円<展覧会入場料、呈茶代(和菓子付)込>

\*昼食は自由行動(刈谷ハイウェイオアシス内)

\*要事前申込 / 電話受付 = 5月1日[日] 10:00—(先着順)

tel. 0566-23-1636 (刈谷市美術館)



《小堤西池のかきつばた》1947(昭和22)年  
刈谷市美術館蔵



## ◎交通のご案内

電車 — JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分

\*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で20分

車 — 名古屋方面より: 国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km \*駐車場あり(無料60台)

## 刈谷市美術館

KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852

愛知県刈谷市住吉町4-5 tel. 0566-23-1636 / fax. 0566-26-0511

<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>